

第2回世界大正琴交流大会 琴リンピック 2018 イン 新潟

大正琴の輪は 未来を拓く 防災の輪
— 語り合えば 信じ合える —

2018年7月19日(木)–23日(月)

「アイアーン大正琴プロジェクト」
「防災世界子ども会議2018イン新潟」 協働開催

多地点インターネットテレビ会議
LIVE配信



企画書 (案) 2017年12月18日

大正琴新潟友の会内 琴リンピック2018イン新潟実行委員会
NPO法人グローバルプロジェクト推進機構 JEARN
アイアーン大正琴プロジェクト実行委員会
防災世界子ども会議実行委員会

開催趣旨

※1 アイアーンとは、＜IARN(International Education and Resource Network)＞、世界130カ国・30言語・40,000教員・200万生徒・200プロジェクトからなるグローバルなNPO教育ネットワークです。日本のセンターはジェイアーン＜JEARN＞です。

はじめに

2016年8月3日(水)～8日(月)の世界大正琴交流大会 琴リンピック2016 イン新潟は世界の先生や子どもたちから「新潟大好き!」「大正琴大好き!」「日本大好き」と絶賛されました。

※1

世界大正琴交流大会 琴リンピックとは「アイアーン大正琴プロジェクト」と「防災世界子ども会議(NDYS)」と国内外の大正琴大好き人間達が集い協働で開催するイベントです。

開催趣旨

日本人が日本人のために作った唯一の楽器＝大正琴を全世界に広めるべく、全国から集まった不用になった大正琴をボランティアで再生し、世界の子供達にプレゼントする「大正琴を世界に広げよう運動」のシンボルとして、大会を実施します。大正琴を通じ、流派を越え、世代を越え、地域を越え、交流し、大正琴を次世代に確実に継承していくことを目的とします。

防災の視点では、世界の小中高等学校の子どもたちが、大正琴を通じて、音楽が持つパワーは「心のケア」の一部として深く考えるようになりました。さまざまな国・地域の防災の知恵や災害から学んだ教訓を共有し、学び合い、地球規模の課題解決へ向けた取り組みを続けることによって「人と人との触れ合いの大切さ」や「命の尊さ」を考える人の育成に繋がると考え「第2回 世界大正琴交流大会 琴リンピック2018イン新潟」を開催することに決定しました。

テーマについて

テーマ「大正琴の輪は 未来を拓く 防災の輪」 サブテーマ「語り合えば 信じ合える」

サブテーマ…「語り合えば」とは、言語だけではなく、大正琴を弾く、雰囲気、動作、表情等も含めた「語り」であり、人と人との触れ合いの中で演奏すれば、相手に共感し、受け入れることができるようになるまでの過程です。「信じ合える」とは、大正琴を弾くことで、相手を信頼することが出来、一緒に弾くことで何かを成し遂げることができるということです。

協働開催について

2014年に全国版の琴リンピックを開催時に提言された、「大正琴を次世代に残すために、高齢化している担い手を若い人達や海外の子ども達に広めたい」という考えを形にしたのが「世界大正琴交流大会 琴リンピック」です。2014年開催時に「音楽で世界の子供達と手をつなごう」という演題で基調講演をした「アイアーン大正琴プロジェクト」の海外で大正琴に親しんでいる子供達の合同演奏が日本でできること、そして海外の子ども達に人気の同じアイアーンの日本発プロジェクト「防災世界子ども会議(NDYS)」の日本開催ができること、琴リンピックとしては、海外から子供達を招き、大正琴の魅力をアピールできること、でお互い協力し合い、お互いの強みを活かして企画され、協働開催という形となりました。

日程

- 7/19(木) ・学校訪問(予定)訪問校にてワークショップ(マップ&大正琴)、宣言文づくり、大正琴贈呈セレモニー、大正琴全体練習 大正琴天板アート製作
- 7/20(金) ・アイアーン世界大正琴交流大会 ・新潟市歴史博物館で防災学習、市内観光・宣言文練習(NDYS&大正琴)
- 7/21(土) ・日報メディアシップ見学・コンサートホールにてリハーサル ・世界災害安全マップ・大正琴天板アート展準備 ・ミニ散策 ・ホテルイタリア軒にてカルチャーナイト ・会議
- 7/22(日) ・「第2回 世界大正琴交流大会 琴リンピック2018イン新潟」開催 ・会議と発表準備
- 7/23(月) ・「防災世界子ども会議2018イン新潟」各国発表会、テレビ会議 ・午後各国帰国

事業概要

事業名	第2回世界大正琴交流大会 琴リンピック 2018 イン 新潟
テーマ	大正琴の輪は 未来を拓く 防災の輪 —語り合えば 信じ合える—
会 期	平成30年7月19日（木） - 23日（月）
主たる 会 場	・ NDYS&大正琴ワークショップ学校訪問（新潟市内の学校 未定） ・ 演奏発表会&ウエルカム・パーティ NSGカレッジリーグ学生総合プラザ 大研修室（新潟市中央区紫竹山6-3-5） ・ 大正琴の交流演奏 琴源ビル（新潟市中央区白山浦1-222-3） ・ 会議・カルチャー・ナイト ホテルイタリア軒 サンマルコ（新潟市中央区西堀通7番町174） ・ 演奏発表、宣言文採択・発信 新潟市民芸術文化会館 リゅーとぴあ コンサートホール（新潟市中央区一番堀通町3-2）
宿泊所	NSGカレッジリーグ学生総合プラザSTEP・ホテル イタリア軒他
参加者 規 模	海外のNDYSスクール・各国大正琴推進スクール等 約100名 参加予定国は、モロッコ、マレーシア、イタリア、ネパール、ウクライナ、コロンビア、イラン、インド、アメリカ、インドネシア、中国、モンゴル、ロシア、オーストラリア、トルコ 台湾など 国内 約220名 * 宣言発表会には、琴リンピックに参加の大正琴愛好家が参加予定 * 多地点インターネットテレビ会議&LIVE配信（7月23日） ※宣言発表（7月22日）は、全ビデオ撮影後→編集→YouTube配信
協 働 主 催	大正琴新潟友の会内 琴リンピック2018イン新潟実行委員会 アイアーン大正琴プロジェクト実行委員会 防災世界子ども会議実行委員会
共 催	新潟市 NPO法人グローバルプロジェクト推進機構 JEARN
後 援 (予定)	外務省、文部科学省、文化庁、新潟県・新潟市教育委員会・各市町教育委員会、新潟日報社・朝日新聞新潟総局・読売新聞新潟支局・毎日新聞新潟支局、NHK新潟放送局・BSN新潟放送・N S T・TeNYテレビ新潟・UX新潟テレビ21・エフエムラジオ新潟・エフエムポート等
言 語	英語・日本語
事務局	新潟市中央区白山浦1-222-3

第2回世界大正琴交流大会 琴オリンピック2018イン新潟
協働開催
アイアーン大正琴プロジェクト
第13回 防災世界子ども会議2018イン新潟
【予定表】

月日 曜日	午前	午後及び夜
7/19 (木)	○受付 ○荷物整理 ○プログラム確認 ○昼食:ステップ	学校訪問(予定) 防災会議&宣言文づくり 大正琴贈呈セレモニー・天板アート製作 ○夕食○大正琴ワークショップ
7/20 (金)	○朝食 - アイアーン大正琴プロジェクト 合同交流ワークショップ・天板アート製作 - 新潟市歴史博物館にて防災学習・朱鷺メッセ見学 ○A班練習 出発 ○B班観光 出発 ○昼食:弁当	○A班 観光 歴史博物館 他 ○B班 練習 ○夕食:ステップ
7/21 (土)	○朝食 - リハーサル 天板アート展準備&大正琴愛好家と日本文化交流会 - メディアシップ見学 - リハーサル 災害安全マップ展示準備&大正琴愛好家と日本文化交流会 ○昼食:弁当	○夜: 会議・カルチャーナイト イタリア軒
7/22 (日)	○朝食 - 第2回世界大正琴交流大会 琴オリンピック2018イン新潟参加者全員演奏発表 - 災害安全マップポスターセッション&NDYS宣言文発表 - 大正琴天板アートコンテスト&大正琴プロジェクト宣言文発表 - 水族館見学予定 ○昼:弁当 ○夜 NDYS発表リハーサル&大正琴練習	○夕食 ステップ
7/23 (月)	- 防災世界こども会議 発表会 ○朝食 ○オープニング(大正琴演奏) ○基調講演・各国発表会・テレビ会議 ○昼食:ステップ	○各地へ帰国

海外参加者の経費 & 準備するもの

各個人が必要とする経費

- 自分の国から新潟市までの往復渡航費とそれに掛かる諸費用
- ～19日朝食費、23日夕食費～
- ○前泊18日(3,500円食事なし) ●後泊23日(3,500円食事なし)
- 海外旅行保険(個人)
- 個人の観光費用(東京方面等)

グループ及び個人が準備するもの

○身の回りのもの一般:

①パスポート、②ビザ、ビザが必要な人は事前にお知らせください。郵便で送ります。③日本円(空港で両替をすること)、④洗面用具、⑤パジャマ、⑥下着やTシャツ等の着替え、⑦食事規制のある人は、食べ物、(※日本の食品には調味料として酒、ラード等が含まれるものが多い。)⑧普段必要だと思うもの。⑨お土産と名刺(日本以外の方は100人、日本人350人ぐらいの参加です。)

○発表のためのもの

1. NDYSは災害安全マップ(NDYSに寄付)22日舞台に持って提示とロビーに展示
2. 紹介プレゼン用PPT(22日舞台で30秒の学校紹介、学習紹介、大正琴演奏発表曲名紹介)
3. 発表プレゼン用PPT(23日発表会場「ステップ」の大研修室で発表をするための)
4. 自国の民族衣装【21日カルチャーナイト、22日舞台発表、23日プレゼン発表で着ます。】
5. 冊子用学習内容紹介資料ワードA41枚または2枚

○展示のためのもの

1. 国や、学校紹介、学習紹介(「発表のためのもの」2と同じでよいが印刷してあるもの。)
2. NDYSは災害安全マップ(「発表のためのもの」1と同じ)
3. その他、自国の宣伝になるような品物(雑貨やお菓子程度ならば販売してもよい)販売許可を取る予定。
4. 天板アート(天板アートコンクールがあります。決まった大きさの紙に大正琴の天板に貼る絵を描いて出してください。(作品は初日に日本で描きます))

○琴リンピックからのお土産〈約5キロ〉

1. 大正琴1人1台〈約3キロ〉ピック、調子笛、ソフトケース付き
2. 日本の遊びグッズ(お手玉等)
3. 天板アート参加記念手作りストラップ(何枚提出しても一人1個)

会場周辺 地図



周辺マップ



信濃川・やすらぎ堤散策

学生総合プラザSTEP

国内外の成果発表予定者の宿泊所
NDYSスクールの交流合宿の場です。



日付	イベント予定	場所
7/19木	○ 学校訪問が中止の場合 海外NDYS参加者と新潟市内の生徒が防災会議。宣言文を作る。 ○ 大正琴ウェルカム演奏 ○ 大正琴贈呈式 & 大正琴の練習	大研修室1/2 会議室
7/20金	○ アイアーン大正琴プロジェクト交流会 ○ 琴リンピック演奏会のための日本の愛好者との大正琴練習 ○ 新潟市内観光(A・B班交代)	琴源ビル 会議室/中研修室
7/23月	防災世界子ども会議2018イン新潟 成果発表 基調講演	大研修室1/2



📍 琴源ビル

7/20 アイアーン大正琴プロジェクト
琴リンピック大正琴交流
新潟市中央区白山浦1-222-3
電話025-231-0510
学校町3番町バス停前
りゅーとぴあまで徒歩15分

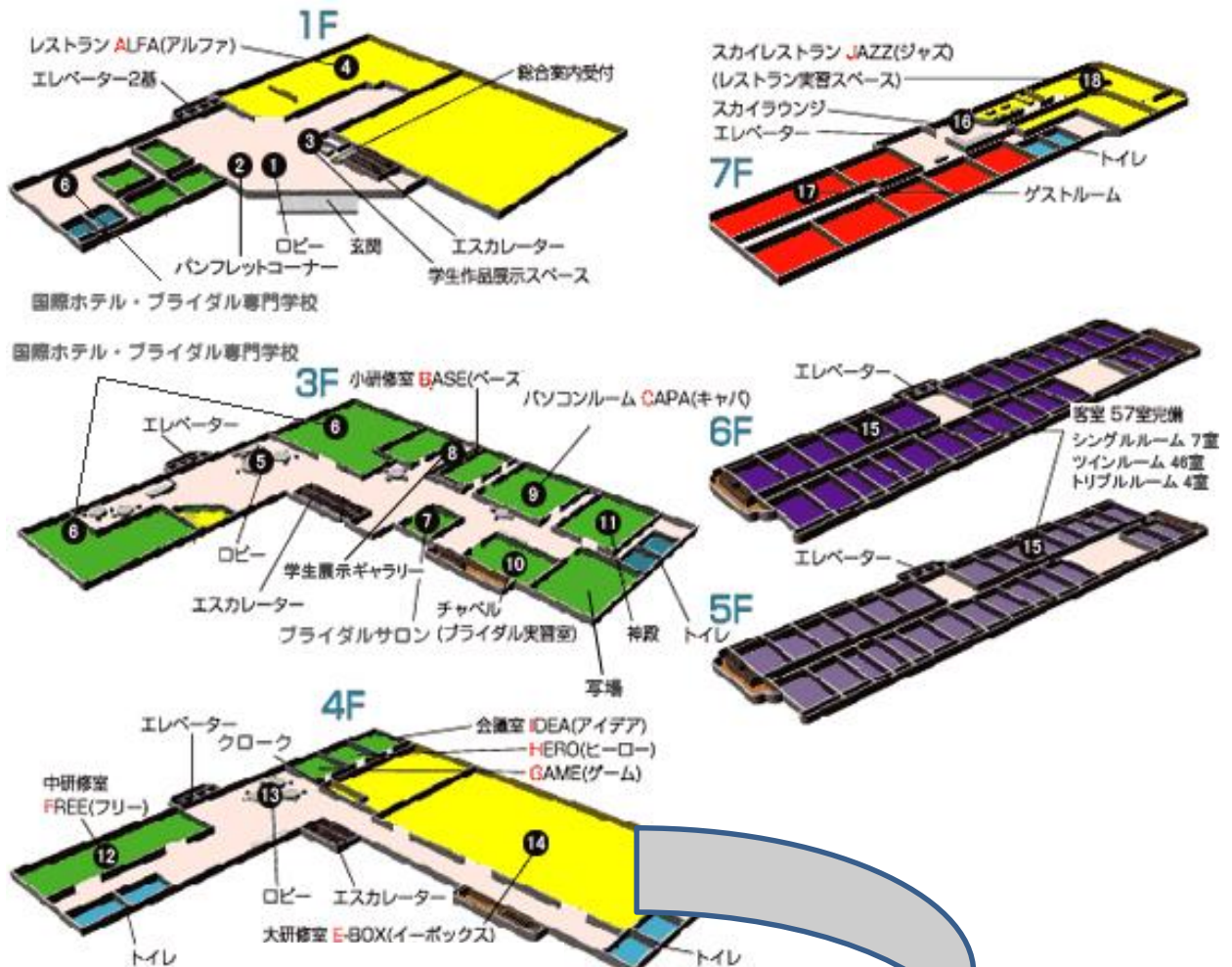
学生総合プラザSTEP

7/19(木)

4F 大研修室で 大正琴ウェルカム演奏・大正琴贈呈式・ワークショップ

7/23(月)

大正琴愛好者と共に「防災世界子ども会議2018イン新潟」を開催



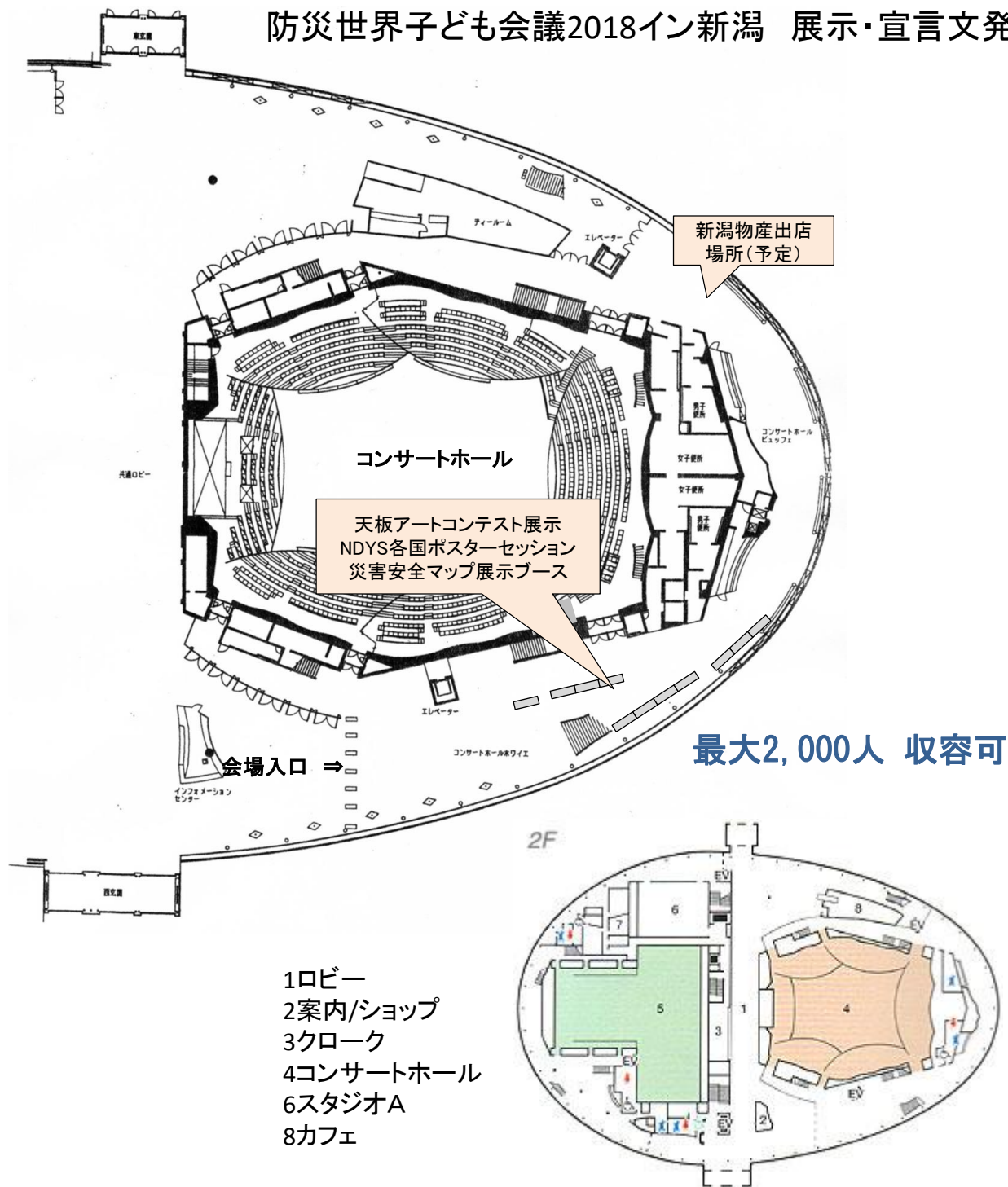
4F 大研修室 最大700人収容可

新潟市民芸術文化会館 リューとぴあ・コンサートホール

7/21~22 第2回世界大正琴交流大会琴リニピック2018イン新潟
演奏会・宣言文発表・天板アートコンテスト発表・参加証明書授与式

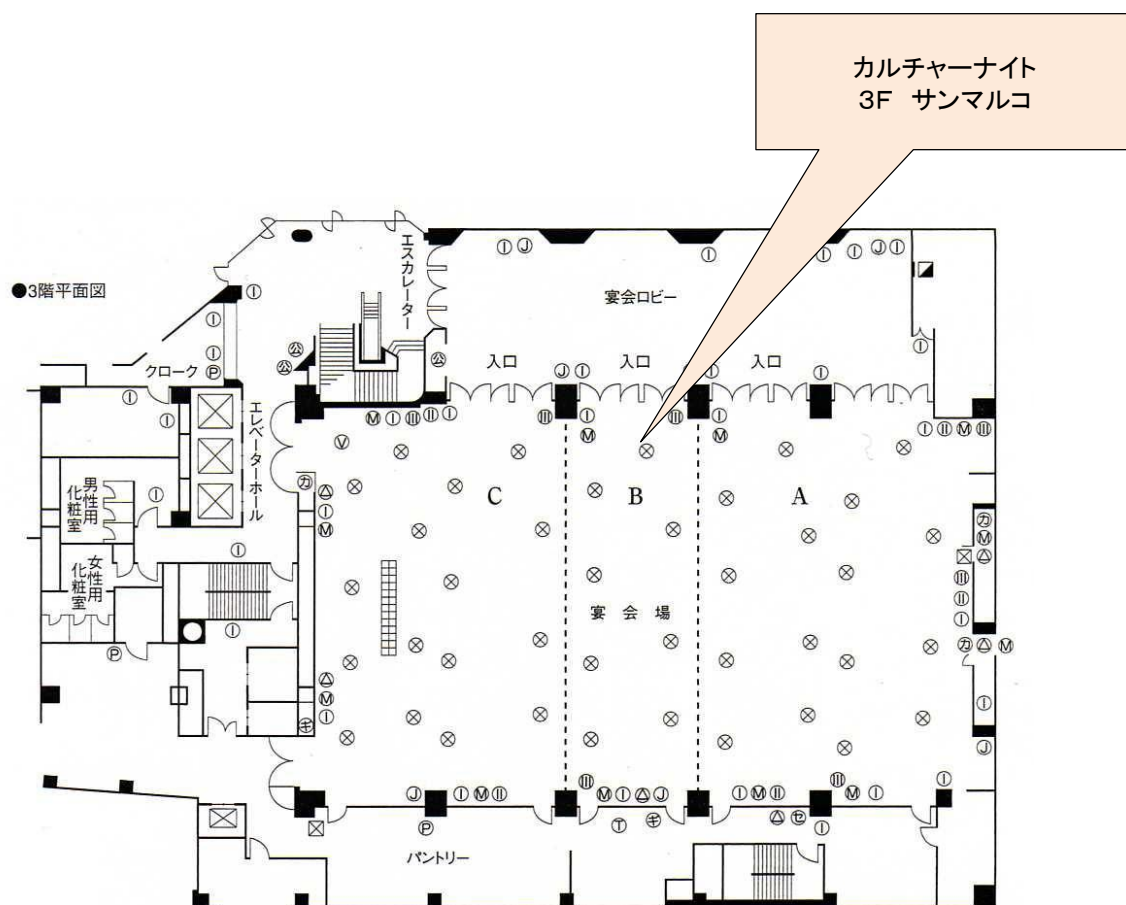
&

防災世界子ども会議2018イン新潟 展示・宣言文発表



ホテル イタリア軒

海外から100名の子どもたちと先生方、国内から大正琴愛好家220名が大正琴 文化交流会をもちます。子どもたちは、それぞれの国・地域の民族衣装を身に着けて登場します。



実行委員会組織

名誉顧問（申請中）

米山 隆一（新潟県知事）
 篠田 昭（新潟市長）
 福田 勝之（新潟商工会議所会頭）
 池田 弘（新潟経済同友会特別幹事）

顧問（予定）

廣田 元子 アイアーン大正琴プロジェクト(代表)
 納谷 淑恵 防災世界子ども会議＝NDYS(代表)

戸塚 操（ロマン全国セミナー実行委員長）
 原田 正太郎（ロマン大正琴指導者）
 鈴木 康之（群馬大正琴友の会会主）

市山 七十世（日本舞踊市山流家元）
 （一般財団法人新潟市音楽芸能協会理事長）
 鈴木 五郎
 （一般財団法人新潟市音楽芸能協会専務理事）

能登 剛史
 （にいがた総踊り祭り総合プロデューサー）

三國 レイ子
 （社会福祉法人親永会 はじめ保育園園長）

徳永 健一（郷土の文化に親しむ会会長）
 村山 利家（新潟フジカラー代表取締役社長）

委員

委員長

金子 秀樹（大正琴新潟友の会会主）

副委員長

遠藤 ケイ（大正琴新潟友の会会長）

役員 村山 英子（新潟市北区）
 役員 諸原 由紀子（新潟市西区）
 役員 樋口 由紀子（新潟市西蒲区）
 会計 金子 初美

（大正琴新潟友の会事務局）

監事 田村 征司
 （ナレッジライフグループ会長）

委員 佐々木 嶺松（秋田花かげ会）
 委員 吉田 智代子（群馬大正琴友の会）
 委員 川合 鈴子（大阪府）
 委員 熊谷 喜美枝（北海道）
 委員 木下 幾子（茨城県）
 委員 仁藤 ひろ子（静岡県）
 委員 横野 公（神奈川県）
 委員 坂井 邦子（新潟市東区）
 委員 川嶋 昌子（新潟市中央区）
 委員 田中 邦子（新潟市江南区）
 委員 武沢 須美江（新潟市秋葉区）
 委員 山崎 クニ子（新潟市南区）
 委員 栗山 玲子（三条市）
 委員 長谷川 サト（燕市）
 委員 指田 トシエ（加茂市）
 委員 千代 順子（新発田市）
 委員 川村 久美子（村上市）
 委員 伊藤 知子（阿賀野市）
 委員 渡辺 幸江（田上町）
 委員 寺久保 敦子（阿賀町）

琴リニック2018 イン 新潟 実行委員会規約

- 名称 第1条 本会は、琴リニック実行委員会(以下「本会」という。)と称する。
- 目的 第2条 本会は、大正琴を全世界に広めるべく、善意で全国から集まった大正琴をボランティアで再生し、世界の子供達にプレゼントする運動のシンボルとして、大会を実施し、大正琴を通じ、流派を越え、世代を越え、地域を越え、交流し、大正琴を次世代に確実に継承していくことを目的とする。
- 事業 第3条 本会は、第2条の目的を達成するため次の事業を実施する。
大正琴を世界の子供達にプレゼントする。
世界の子供達に大正琴に親しんでもらうための講習会と海外参加者大正琴子供コンクールを実施する。
外国の子供達と日本の子供達との大正琴を通じた交流をする、交流会実施。
世界大正琴交流大会琴リニックを実施。その他目的達成のために必要な事業に関すること
- 組織 第4条 本会は、琴リニックの趣旨に賛同する個人団体などをもって組織する。
- 役員および委員 第5条 本会は、委員長1名、副委員長若干名、監事1名、会計1名を、役員数名を置く。委員長は、実行委員の互選で選出する。その他の役員は、委員長が実行委員会の同意を得て選任する。
- 役員および委員の職務 第6条 委員長は、実行委員会を代表し、会務を総理する。
副委員長は、委員長を補佐し、委員長が不在のときは、その職務を代行する。
会計は、実行委員会の収支を管理する。
監事は、実行委員会の業務執行の状況及び会計を監査する。
役員は実行委員会の円滑な運営および事業の発展について助言する。
- 役員および委員の任期 第7条 役員及び委員の任期は原則1年とする。ただし、イベントの始期終期により変更できる。再任を妨げない。
- 会議 第8条 実行委員会の会議は、委員長が召集し、会長が会議の議長となる。
- 事務局 第9条 実行委員会の事務局は、新潟市中央区白山浦の大正琴新潟友の会内に置く。
- その他 第10条 この規約に定めるもののほか、実行委員会の運営に関し、必要な事項は、委員長が定める。
- 附則 この会則は、平成29年1月1日から施行する。

第1回世界大正琴交流大会 & 防災世界子ども会議

2016年8/3～8/7

結果内容

参加団体名

<海外>

モンゴル国 / ネパール連邦民主共和国 / アメリカ合衆国

中華人民共和国・・・（深圳第2小学校）・台湾・・・（鳳西國中学校）

インドネシア共和国・・・『SMP ISLAM AL-AZHAR 9 "KEMANG PRATAMA"』

イラン・イスラム共和国・・・『Kherad School, Saba School』

コロンビア共和国・・・シモーナデューク産業専門学校、ポンティフィシアボリバル大学

オーストラリア連邦・・・Leongatha Primary School

インド・・・（聖マルコ シニアセコンダリーパブリックスクール）

トルコ共和国・・・『Emine Ornek School』

アイアーンの有志

<県外>

秋田県：秋田花かけ会

群馬県：群馬大正琴友の会

混合 チーム 花は咲く・・・静岡県、長崎県、愛知県、栃木県、東京都

甲南高等学校

<県内>

チームトッピー・チーム キッピー・チーム キョージョ・チーム 笹団五郎

・チーム花野古町・チーム ジーゾ

<特別出演> NSGグループ日本語科海外留学生有志

ONE WORLD（ネパール・中国・モンゴル・ベトナム・アメリカ・インドネシア）

★ 防災世界子ども会議に新潟市立南浜中学校の皆様に参加していただきました。

<賛助出演>

合 唱 琴リンピック合唱団

三味線 津軽三味線 小林組。

長 唄 小林知子（東音）

寄 席 新潟大学落語研究部

<スタッフ>

プロデュース 琴 源

司会・進行 山本潤二・淑子／鈴木五郎

伴 奏 キーボード 鈴木 康之

音 響 サウন্ズキッパー 宮川龍蔵

映 像 (株)鈴商 (株)琴源

記録・撮影 伊藤一郎

舞 台 新潟照明技研(株)

「第1回世界大正琴交流大会 琴リンピック2016イン新潟」の概要

この大会は、大正琴を世界に広める運動の象徴としてに海外から中高生約100名が参加した第1回目の世界大正琴交流大会という大イベントでした。

開催日：2016年8月3日(水)～7日(日)の流れ

8月3日(水)NSGのSTEP

海外組は、新潟入りし、同時開催の「防災世界子ども会議」の準備。その中では、みなとぴあ見学、朱鷺メッセ展望フロア見学、大正琴ウェルカム演奏をし、大正琴がどんなものかを披露。琴リンピック世界大会で大正琴を弾く子供たち全員に大正琴をプレゼントしました。



8月4日(木)

「防災世界子ども会議」をNSGのSTEPでおこない、前みなとぴあ副館長の田代雅春氏の講演を実施。講演会は、公開とし、市民参加を呼びかけたところ、85名の一般参加があり、また、新潟市立南浜中学校の生徒が会議に参加してくださいました。夕方、大正琴を弾いたことのない子供達にワークショップをして、1曲でも弾けるようにして琴リンピックで発表する準備をしました。



参考資料

8月5日(金)

2班にわかれ、「新潟ふるさと村」見学と琴源ビルで大正琴のワークショップをし、演奏会に備え、合間にポスターセッションの準備もしました。新潟まつりの民謡流しに参加するため、ゆかたをプレゼントして、ボランティア10名で浴衣を着せて、新潟甚句の踊りのレッスンをしました。夜、琴リピックの山車を先頭に万代橋の上で踊りました。後日その写真が新潟市の市報に載りました。



8月6日(土)

朝方、メディアシップの展望フロアに寄り、リ्यूーとぴあコンサートホールにて、終日リハーサル。この日は、大正琴の愛好家が新潟からは約150名、県外からも約80名新潟入りし、リハーサルをしました。海外組は、ロビーに各国の防災に関する展示をして、準備。日本の伝統的な遊び、あやとり、お手玉、折り紙などのコーナーも設け、日本の高齢者との交流もできました。

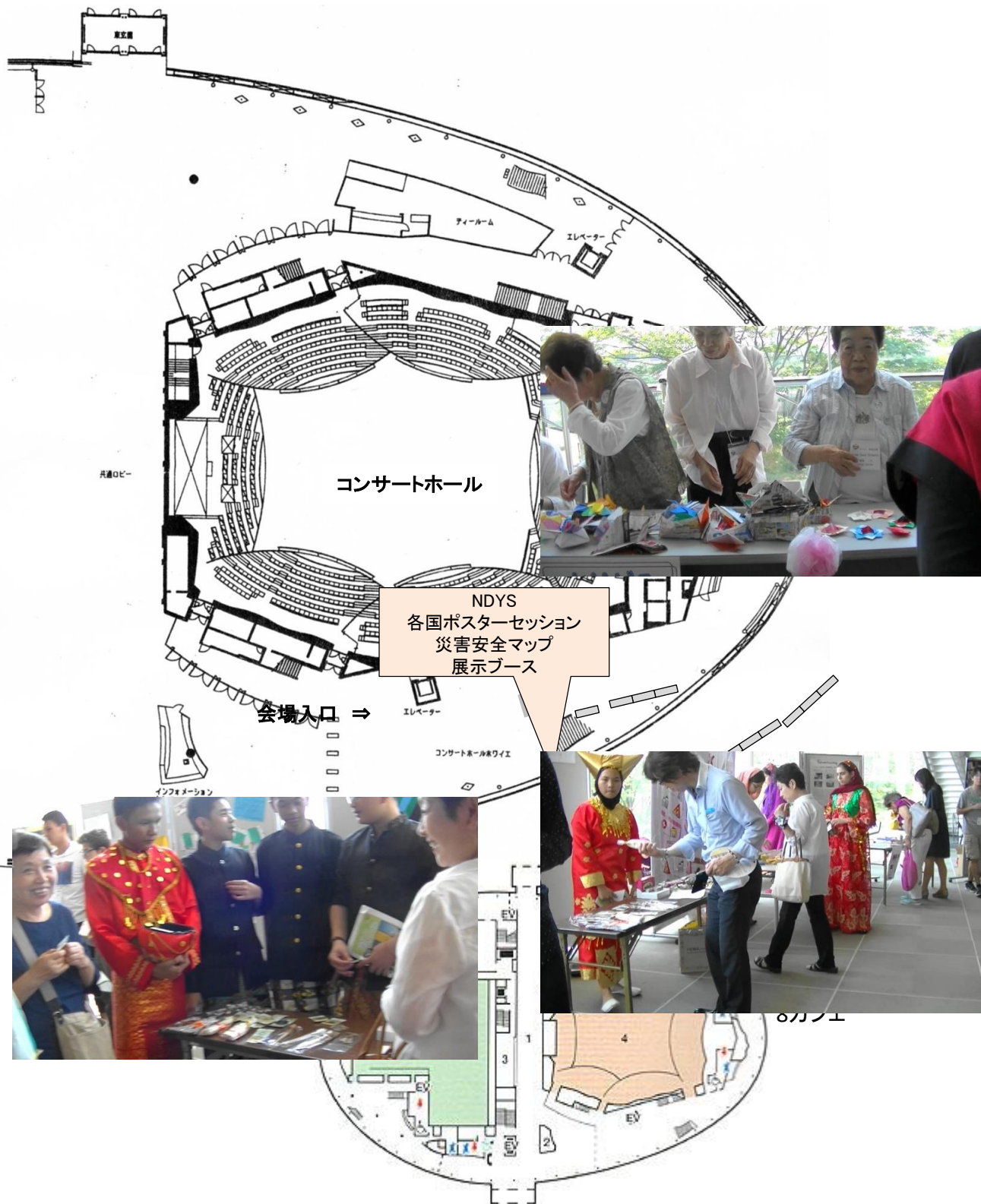


ホテル イタリア軒

イタリア軒到着後、出演者全員による、交流会。海外の子どもたちと先生方と国内から大正琴愛好家参加者総勢350名の交流会。子どもたちは、それぞれの国・地域の民族衣装を身に着けて練習してきたパフォーマンスを披露し、約2時間半交流しました。



新潟市民芸術文化会館 リューとぴあ・コンサートホール



参考資料

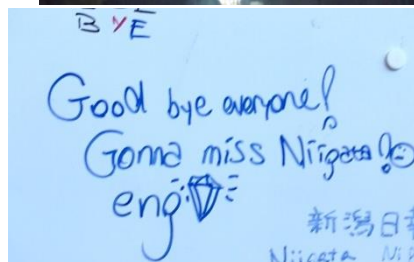
8月7日(日)

いよいよ本番。コンサートホールでは、全国からの大正琴愛好者による演奏、海外組のパフォーマンス、両方入り交じっての演奏が繰り上げられます。その途中で、海外組は、「防災世界子ども会議」の宣言文を舞台で発表しました。ロビーでは、各国の展示があり大盛り上がり。来場者も大喜び。演奏会の圧巻は、日本側で、「ざ・じょんがら」を100人で弾き、大正琴愛好者がいかに元気かということをアピールしました。それに負けじと海外組も「さくらさくら」「故郷」を全員で弾きました。NDYSの宣言文発表、最後に、大正琴贈呈式、天板アートコンテストの発表、参加証明書授与のセレモニーがあり、2年後にまた集うことを約束し、大声で、宣言文「大正琴がんばりま〜す！」を全員で言って終了。出演者全員が舞台に乗り、フィナーレとなりました。この日が、世界に大正琴を拡めるための第1歩となりました。海外組は、1人1本、全100本大正琴を持って自国に帰りました。大正琴が世界にお嫁に行きました。大正琴が日本の文化のひとつとして広く認識してもらえるのを願っています。



← 天板アート

その晩、海外組は、新潟花火を陸上競技場で観覧しました。



<お 礼>

アイアン大正琴プロジェクト代表
廣田 元子

アイアン大正琴プロジェクトは、8年目に「琴リンピック2016イン新潟」で開花いたしました。

「琴リンピック実行委員会」の皆様を始め、大正琴新潟友の会の皆様本当にありがとうございました。

私は、2007年に愛知で開催した「防災世界子ども会議2007インあいち」での無理がたり、2008年7月に変形性膝関節骨切り術の手術を受けました。その後のリハビリ中に会ったのが大正琴です。2008年9月、リハビリをしながら大正琴普及活動の施策に思いを巡らせ、2009年「アイアン大正琴プロジェクト」を立ち上げ、世界に向けて活動を開始しました。2014年「琴リンピック実行委員会」と協働で活動を始めてからは、急速にその活動が活発となりました。2016年8月7日「琴リンピック2016イン新潟」でとうとうアイアン大正琴プロジェクトは大きな大輪となり花を咲かせてくれました。実は、私はこの光景を2008年に夢に描いていました。夢の裏にはこのような思いもありました。

大正琴の愛好家は全国に溢れるほどいる。きっとどこかの大正琴組織が世界に目を向ける時が来るであろう。その時が来れば世界の子供たちを日本のコンサートホールに上げることができであろう。

しかし、その時はなかなか訪れる気配もなく、自己資金も底をついてきたので2014年にプロジェクトを閉じようとしていました。その矢先に頂いた話が「琴リンピック世界版」でした。まさに私が2008年に夢に描いた内容でした。その後はひたすら琴リンピック実行委員会と防災世界子ども会議実行委員会と協働で活動し、とうとう夢は叶いました。

私にはもう一つ、「琴リンピック」の続きで描いている夢があります。それは100年前、世界に羽ばたいた大正琴愛好家をもう一度結集させることです。眠っている大正琴にもう一度息を吹き込み、現地の人たちと共に演奏を楽しんでもらうことです。さらには、その人たちが日本の地でも演奏することです。もちろん、演奏する人は世代が代わっているでしょう。それは仕方ないことですが、楽器が世代を越えて受け継がれることが大切なのです。

2018年7月、世界へ飛び立った大正琴の輪がその人たちを呼び寄せてくれるのを夢に描いて次への活動を開始いたします。

新潟で来月「琴リンピック」

伝統の音色世界に響け

初めての世界大会に向けて練習 新潟県大正琴友の会

海外の子と初共演

米国のインドネシアなど世界11カ国、地域の子どもたちと全国の大正琴愛好家が共演する初めての「世界大正琴交流大会 琴リンピック」が8月7日、新潟市中央区の市民芸術文化会館で開かれる。愛好家が高齢化する中、国際交流を通じて大正琴の魅力を世界に発信する。県内外の愛好家らでつくる実行委員会は「国や年齢を越え、どこにもない感動の演奏会にしたい」と意気込んでいる。

「琴リンピック」は大正琴新潟友の会主催、今大会の実行委員長を務める琴源（本名・金子秀樹さん）(66)が名付けた演奏会。国内の愛好者が集まり1999年から4回新潟市で開催してきた。世界大会は「日本の伝統楽器を世界に広め、次世代につなげたい」と琴源さんが温めてきた企画。実現に向け、2年ほど前から必要になった大正琴の提供を全国に呼び掛け、国際教育に関わる団体と一緒に現地訪問するなどし、約90台を世界の子供たちにプレゼントしてきた。

大会には、大正琴を贈ったモンゴルや中国、トルコなどから約100人が参加する予定。子どもたちは琴源さんがインターネットで配信する動画を見て練習に励んでおり、グループに分かれて「さくらんぼ」「お正月なご10曲を演奏する」などのソロや新潟友の会メンバー100人による「津軽じよんが節」のアレンジ曲なども披露される。国でさらに大正琴を普及させてほしいとの思いから、子どもたちには計120台の大正琴を新たに手渡す予定。

大正琴新潟友の会会長の遠藤ケイさん(87)は「三糸市には今から交流が楽しみ。日本の伝統文化に親しんでもらいたい」と使命感に燃えていると話した。大会は午前9時〜午後3時半。前売り1000円（当日3000円増し）。問い合わせは実行委員会事務局、025(233)0510。



琴リンピック合唱団 団長より
大正琴と日常あまり縁のない合唱団の皆さんにとっては、素晴らしい演奏にも接することが出来て、また「琴リンピック世界大会」という晴れの舞台に立つことが出来た、楽しかった、いい経験をさせていただいたとのメッセージが多数ありましたことをご報告いたします。

留学生グループの先生より

皆さん1ヶ月頑張りました。できなくて辞めた人もいるなか夏休みも毎日二時間も練習して迎えた本番。コンサートホールの大きさ、観客の数、会場の雰囲気などからの極度の緊張から帰りたい、逃げたいと言いながらもステージでは堂々たる演奏をしていました。演奏が終わったあとは皆とてもいい笑顔で、やってよかった、楽しかった、と口々に言っていました。嫌なことから逃げないでやりとげられたという経験が彼等にとってこれからの人生にも役に立つと思います。大正琴の演奏、素晴らしかったです♪



大正琴新潟友の会一会員より

どの国でどんな方が参加されるのか興味と期待を持って参加をし、ビックリしました。琴源先生の根気のある行動の伴った根回しには感服しました。前日6日の親睦会の場の華やかな事、今までと違った半ば老人会とは一変し澁刺とした子供達の中での会は初めての経験でした。二度と経験できない場に参加出来、躍動感を頂き幸せをもらいました。当日7日の昼食後ロビーにてモンゴルの人達の売店で品定めをしていたら突然、トッピーさんの演奏は素晴らしかったですと子供さんに言われてビックリ、笑顔で再度ヨカッタデスと言われたので財布をゲットしました。

大正琴新潟友の会一会員より

10カ国の海外の子供達が参加して琴リンピック世界大会を開催するという途方も無いイベントを準備するに当たり、高齢者でもある会員達がボランティアという底力を存分に発揮し、成功への一役を担ったと思います。子供達は毎日過密スケジュールにもかかわらず、疲れた様子も見せず楽しそうに演奏し、パフォーマンスで会場を沸かせ、今までに無い雰囲気観客も我々も十分楽しませてもらいました。それぞれの国に帰っても、この楽しかったイベントを思い出し、大正琴をずっと続けて欲しいし、世界に広めてほしいと願っています。最後に友人の弁ですが「何と言っても圧巻は“じょんがら”だったし見ごたえがあったよ」とその一言で必死に練習したかいがあったと思われ報われました。



防災世界子ども会議実行委員会 実行委員長 納谷 淑恵

平成28年8月3日より8日まで、新潟市において、気候変動と私たちの住む町の「防災・減災・復興」をテーマとし、「防災世界子ども会議2016 in新潟」を無事開催することができました。防災世界子ども会議は、国際的な教育のNGOであるInternational Education and Resource Network（略称iEARN アイアーン）のプロジェクトとして2004年から始まり、今日に至っています。これまで、日本国内のみならず、トルコ、トリニダードトバゴ、台湾と国外においても成果発表会を行ってきました。

今年の新潟会議では、海外からの参加国・地域は、オーストラリア連邦、アメリカ合衆国、コロンビア共和国、トルコ共和国、イラン・イスラム共和国、インド、インドネシア共和国、中華人民共和国、台湾の8か国1地域からの参加がありました。また、インターネットテレビ会議では、インドやマレーシア、宣言文発表会には、モンゴル、ネパールからの参加もありました。日本からの発表者としては地元新潟の南浜中学校及び兵庫県芦屋市や神戸市の高等学校が参加をしました。プロジェクトの成果発表会にはテレビ会議による発表を含めると、100名以上の生徒が発表を行いました。また、協賛団体の協力により、8月4日のプロジェクト成果発表会には85名、8月7日の防災世界子ども会議2016宣言発表には、430人の新潟を始め様々な都道府県からの参加者と530人の聴衆の参加がありました。防災世界子ども会議は、これまで10年以上成果発表会を開催してまいりましたが、このように様々な方が参加する大規模な会議となったのは初めてでした。これも、ひとえに共催団体である大正琴新潟友の会内 琴リンピック2016イン新潟実行委員会をはじめとする新潟の皆様の多大な協力があればこそその成功です。ご協力くださいました皆さまには、心より感謝申し上げます。

また、会期中、参加者に病気も事故もなく無事に会議を終えることができましたのは、本当に喜ばしいことで、会議に参加した海外の皆さんからは会議の素晴らしさだけでなく、日本の素晴らしさ、特に新潟の方々のホスピタリティに感動したと口々にお褒めの言葉をいただきました。

私たちが願う、グローバルな視点から見た防災と、学校と家庭・地域が共同する防災教育の構築に向けた活動が、新潟の地で花開いたといえます。

最後に、防災世界子ども会議を開催するにあたって、様々なご協力をいただきました皆様に再度お礼申し上げます。本当にありがとうございました。



＜共 催＞

新 潟 市
NPO 法人グローバルプロジェクト推進機構 JEARN
アイアーン大正琴プロジェクト実行委員会
防 災 世 界 子 ども 会 議 実 行 委 員 会

＜後 援＞

内 閣 府	三条市教育委員会	新 潟 日 報 社	U X新潟テレビ21
外 務 省	新発田市教育委員会	朝日新聞新潟総局	エフエムラジオ新潟
文 部 科 学 省	加茂市教育委員会	読売新聞新潟支局	F M P O R T 7 9 . 0
新 潟 県	燕市教育委員会	毎日新聞新潟支局	郷土の文化に親しむ会
兵 庫 県	阿賀野市教育委員会	N H K 新潟放送局	ヨークカルチャーセンター新潟
新潟県教育委員会	阿賀町教育委員会	B S N 新潟放送	
新潟県国際交流協会	一般社団法人日本教育情報化振興会	N S T	
新潟市教育委員会	新潟商工会議所	T e N Y テレビ新潟	

＜特別協賛＞

(株)コロナ N S Gグループ くいどころ里味
(株)タカヨシ ホテルイタリア軒 ナレッジライフグループ
(株)千代田設備 & (株)ミスターパイプレンチ (株)琴 源

【実行委員会組織】

〈名誉顧問〉

篠田 昭 (新潟市長)
福田 勝之 (新潟商工会議所会頭)
池田 弘 (新潟経済同友会特別幹事)

〈顧 問〉

廣田 元子 (アイアーン大正琴プロジェクト代表)
納谷 淑恵 (防災世界子ども会議＝NDYS代表)
岡本 和子 (防災世界子ども会議＝名誉会長)
五十嵐瑠美子 (一般財団法人新潟市音楽芸能協会理事長)
(新潟市洋舞踊協会会長)
市山 七十世 (一般財団法人新潟市音楽芸能協会副理事長)
(日本舞踊市山流家元)
鈴木 五郎 (一般財団法人新潟市音楽芸能協会専務理事)
徳永 健一 (新潟県立近代美術館館長)
(郷土の文化に親しむ会副会長)
能登 剛史 (にいがた総踊り祭り総合プロデューサー)
村山 利家 (新潟フジカラー代表取締役社長)
三國 レイ子 (社会福祉法人親永会 はじめ保育園園長)
戸塚 操 (ロマン全国セミナー実行委員長)
原田 正太郎 (ロマン大正琴指導者)
鈴木 康之 (ぐんま大正琴友の会会主)

〈委 員〉

委員長 金子 秀樹 (大正琴新潟友の会会主)
副委員長 遠藤 ケイ (大正琴新潟友の会会長)
委 員 佐々木 嶺松 (秋田県・大正琴花かけ会)
委 員 吉田 智代子 (群馬県・ぐんま大正琴友の会)
委 員 川合 鈴子 (大阪府)
委 員 熊谷 喜美枝 (北海道)
委 員 木下 幾子 (茨城県)
委 員 外岡 倭文子 (静岡県)
委 員 山西 恭子 (静岡県)
委 員 横野 公 (神奈川県)
委 員 本村 道子 (長崎県)
委 員 村山 英子 (新潟市北区)
委 員 坂井 邦子 (新潟市東区)
委 員 山口 雅子 (新潟市中央区)
委 員 諸原 由紀子 (新潟市西区)
委 員 樋口 由紀子 (新潟市西蒲区)
委 員 田中 邦子 (新潟市江南区)
委 員 武沢 須美江 (新潟市秋葉区)
委 員 大関 ユキ (新潟市南区)
委 員 栗山 玲子 (三条市)
委 員 小幡 京子 (燕市)
委 員 指田 トシエ (加茂市)
委 員 千代 順子 (新発田市)
委 員 川村 久美子 (村上市)
委 員 渡辺 幸江 (田上町)
委 員 寺久保 敦子 (阿賀町)

〈監 事〉

田村 征司 (ナレッジライフグループ会長)

＜協賛一覧＞

(株)鈴商 八海醸造(株) (株)イシカワ

(株)ウオショク (株)新潟フジカラー
内田エネルギー科学振興財団 雪国あられ(株)
新潟照明技研(株)

BSN新潟放送 愛広苑壺番館 わか竹
N S T 愛宕福祉会 広野産業(株)・(株)古沢製作所・
TeNYテレビ新潟 (株)サンキョーフーズ ヘアサロンぶるーむ
U X新潟テレビ21 (株)ホテル清風苑
(株)アートグラフィック新潟 田中屋本店

(有)アイエスシー	近藤雄治	てづくりさろんたんぽぽ	古町 神明宮
(有)アクアプロクター	(有)幸荘	(株)テレコムC & C	(株)プログレックス
アットホーム アラカワ	(有)サカモトエンジニアリング	富岡清嗣事務所	北條雄一
アドミックスシステムウエア(株)	さつき会OG会	トワニー(株)	(株)宝石みのわ
アルモ	サトー・マネジメントコンサルタント	(有)中野園芸	(株)北都
イオカ電子(株)五十嵐生野	(有)サヨ美容室	(株)中元組	(株)マイエステート
モダンスタジオ	県議会議員 澤野 修	(株)新潟学習社	マイコロジーテクノ(株)
池田昭典	(株)三糧	新潟県立近代美術館	前田スミ
(株)池田看板	(株)シアンス	新潟国際情報大学	薪なら価格一番
(有)一不二ビルサービス	歯学博士 澤 秀一郎	(株)にいがた三昧	牧野庄三
今代司酒造(株)	新発田ビルサービス(株)	新潟サンリン(株)	(株)マツイフーズ
I・RO・HA	(株)柴山機械	(有)新潟住建	(株)丸伊
(有)魚沼新潟物産	シュガーベイブ	新潟スロバキア協会 他	ミドリ薬品(株)
(株)S.U建築設計	(株)ジョーメイ	新潟総踊り祭実行委員会	(株)峰村商店
(株)エングラフ	(株)鈴木コーヒー	新潟地下開発(株)	(有)宗村商会
(株)温建	スタジオ スガマタ	(株)新潟日報社	(株)メイクスジャパン
カーブドッチ	(株)清新ハウス	日新工業(株)	(有)山富
華々	(株)関本製麺	(株)根茂レース	(株)ユニバーサルトラベル
(株)架設工事佐々木組	千福	(有)橋本工業所	(有)横山商事
(株)家寶	第一電設工業(株)	(株)はり糸	(有)吉岡不動産商事
(株)神田紙器製造所	(有)タイセイブラン	(株)ビッグフォール	柳都庵
神林政弘	ダイセイ歯科クリニック	ひまわり幼児教育専門学院	柳都斎梅雪
kichi's bar	(株)高清	(株)百花園	ロイヤルハートクリニック
琴扇姫会	タカノ食品(株)	(株)フジ・クリエイティブセンター	(株)ワールドスイコー
(株)紅越	高橋喜代治	藤田金属(株)	(株)渡大組
(株)国際総合計画	宝井琴梅	藤田実	
後藤克彦	匠サポートサービス	(有)フジプリント	

